

社福振福 第 4 1 号
令和 5 年 5 月 3 1 日

道府県
各 政令指定都市 民生主管部（局）長 様
中核市

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
理事長 橋 本 正 明
(公 印 省 略)

2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講者の推薦について（お願い）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当センターの事業運営につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記研修については、別添「2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査実施要綱」のとおり実施することとなりました。

つきましては、業務ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、貴管下の民間社会福祉施設等に勤務する職員について、下記のとおり受講者をご推薦いただきたくお願い申し上げます。

なお、ご推薦にあたっては、本研修の趣旨に照らし特定の施設に偏ることなく、できるだけ多くの施設からご推薦いただきたく存じます。また、障害者班の障害児・者関係施設の職員の推薦につきましては、誠に恐縮ではございますが、障害児・者関係のご担当の部署にご依頼いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

受講対象者の選考結果につきましては、決定次第、貴職及び全ての申込者の所属施設長あてに連絡いたします（8月中旬頃を予定）。受講定員の関係から、ご推薦をいただきながらも受講いただけない場合もございますので、あらかじめご了承賜りますようお願い申し上げます。

記

1 ご推薦いただく対象者

高齢者班・・・・・・ 高齢者福祉関係施設の職員

障害者班・・・・・・ 障害児・者福祉関係施設の職員

（受講対象要件は「実施要綱」のとおり）

2 提出書類（各様式は期間限定でHPからダウンロード可）

(1) 【各都道府県（一部社協）・指定都市・中核市が作成】

○2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講希望者推薦書（指定様式）

(2) 【受講希望者が作成】

○2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講申込書（指定様式）

3 提出方法 郵送、メールまたはFAX等で期日までにご提出ください。
メールまたはFAXで提出いただいた場合、申込書原本は受講
者決定通知時まで保管していただきますようお願いします。

4 提出〆切 2023年7月7日（金曜日）（必着）

※該当者なしの場合もお手数ですがその旨ご連絡願います。
お電話でも承ります。

また、〆切後も申込書の送付があった場合はお手数ですが、
下記提出先までお問合せください（場合によっては受理いた
します）。

5 その他

当センターホームページ（<https://www.sssc.or.jp/>）に「実施要綱」、
「選考基準」、「申込書」及び「企画書」を掲載しております。

《照会・提出先》

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
福祉振興部 海外研修担当：深山（みやま）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6 SEMPOS ビル 5階
E-mail：ml--fukushi1@sssc.or.jp

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6 SEMPOS ビル 5階

Tel：03-3486-7511 / Fax：03-3486-7514

研修受講者推薦事務ご担当者様向け補足説明

いつもお忙しい中ご協力いただきありがとうございます。本文書が担当係ではない係に届いてしまった場合は、恐れ入りますがご担当者様にお渡し願います。

1 2023年度海外研修の特記事項

- ① 今年度は、高齢者班・障害者班の2班に分けて実施します。
- ② 受講対象者を高齢者班は「介護報酬指定施設・事業所等」、障害者班は「自立支援給付指定施設・事業所等」としておりますが、高齢者福祉及び障害者福祉関係施設に従事している方からのご応募がありましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。
- ③ 昨年度は募集人員が40名でしたが、反響が大きく応募が多数に上ったため、今年度は募集人員を80名に引き上げております。
- ④ 研修日程につきまして、1日目は80名で実施、2日目は視察施設職員との質疑応答の時間を十分にとれるよう、2グループに分けて実施することとします。日程につきましては受講者決定の通知時に、申込者の所属施設長へお知らせいたします。

2 提出書類について（推薦期間中、(7/7まで)HPからダウンロードいただけます。）

- ① 2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講希望者推薦書（指定様式）
→お手数ですがご作成をお願いします。
- ② 2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講申込書（指定様式）

提出期限：2023年7月7日（金）必着

書類の提出が期限に間に合わない時は、その旨を電話・FAX・メール等で、期日までにご連絡願います。なお、推薦者がいない場合であっても、その旨ご連絡ください。

3 受講者の決定について

2023年8月中旬頃に、受講決定・非決定に関わらず貴職及び全ての申込者の所属施設長あてにご連絡いたします。

ご不明な点等ありましたら、お手数ですが下記担当者までご連絡をお願いいたします。

公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

担 当 福祉振興部 海外研修担当 深山（みやま）
電 話 03-3486-7511
F A X 03-3486-7514
住 所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6
E - m a i l ml--fukushi1@sssc.or.jp
ホ-ムページ <https://www.sssc.or.jp/>

2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 実施要綱

1 目的

民間社会福祉施設等で働く介護職員、生活支援員等の職員が諸外国における福祉の最新情報や知識について学び、もってわが国の福祉サービス向上や地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

2 実施主体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「センター」という。）

3 研修・調査実施班及び内容

① 高齢者班

ア 研修・調査国 スウェーデン

イ 研修・調査の内容

スウェーデンの福祉事情聴取、高齢者福祉関係施設の利用者の支援状況及び高齢者のための支援技術等

② 障害者班

ア 研修・調査国 デンマーク

イ 研修・調査の内容

デンマークの福祉事情聴取、障害児・者福祉関係施設の利用者の支援状況及び障害児・者のための支援技術等

4 研修・調査実施期日

① 高齢者班

1日目 スウェーデンの福祉事情セミナー（LIVE）

2023年9月15日（金）16時～18時

2日目 スウェーデンの高齢者関係施設見学・質疑応答等（LIVE）

2023年9月22日（金）16時～18時30分

2023年9月29日（金）16時～18時30分

※2日目の施設見学については、2グループに分けて実施する予定であること。

日程については、受講者決定時に通知するものとする。

② 障害者班

1日目 デンマークの福祉事情セミナー（LIVE）

2023年10月4日（水）16時～18時

2日目 デンマークの障害者関係施設見学・質疑応答等（LIVE）

2023年10月6日（金）16時～18時30分

2023年10月12日（木）16時～18時30分

※2日目の施設見学については、2グループに分けて実施する予定であること。
日程については、受講者決定時に通知するものとする。

5 募集人員

各班約80名

6 受講費用

3,000円

7 受講対象者

次の①～④の全てを満たす者とする。

① 次のア・イに掲げる民間社会福祉施設等に勤務する介護職員、生活支援員、保育士、看護師等で、各所属施設長を経て各都道府県（一部社会福祉協議会による）、指定都市、中核市の民生主管部（局）長から推薦された者。

ア 高齢者班（各都道府県・指定都市・中核市からの推薦）

介護報酬指定施設・事業所等

イ 障害者班（各都道府県・指定都市・中核市からの推薦）

自立支援給付指定施設・事業所等

② 研修・調査終了後も引き続き当該業務に従事する意志を有する者

③ 研修の全日程を受講することができる者

④ ZOOMミーティングを利用したオンライン研修を受講できる者

（詳細は別紙1「オンライン研修受講にあたっての必要な機材・環境について」参照）

8 申込方法

受講希望者は、所定の受講申込書を推薦主体（前記7①）に提出すること。

9 申込締切

申込締切日については、推薦主体からの案内を確認すること。

（※各推薦主体からセンターへの推薦締切は2023年7月7日（金）であること。）

10 受講者の決定及び通知

受講者は、前記7により都道府県（一部社会福祉協議会による）、指定都市、中核市の民生主管部（局）の長より推薦された受講希望者の中から、センターにおいて別紙2「民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講者選考基準」により選考のうえ決定し、その結果を当該民生主管部（局）長及び各所属施設長あて通知するものとする。

なお、受講が決定した者には、受講方法等について個別に案内するため、申込書に

は必ず受信できる E メールアドレスを記載すること。

11 レポートの提出について

- (1) 受講者は、オンライン研修終了後に所定のレポートを提出するものとする。
- (2) レポートはセンターにて取りまとめる。また、センターのホームページや関係雑誌にレポートの内容等を掲載する場合がある。

12 研修の成果について

受講者は、研修の成果について、所属施設並びに地域等において幅広く伝えるように努め、福祉サービス及び地域福祉活動の向上に寄与するものとする。

13 その他

- (1) 提出された書類は一切返却しないものとする。
- (2) オンライン研修を受講できる環境の整備（受講場所やパソコンの用意、通信環境等の整備）は受講者本人または受講者の所属施設で準備するものとする。
- (3) センター内の記録のため研修内容を録画する予定であること。

2023 年度海外研修・調査

オンライン研修受講にあたっての必要な機材・環境について

オンライン研修受講にあたっては、下記の環境の用意が必要です。

(マイク音声、受講者ご自身の映像を表示して受講することを条件といたします。)

1. 使用機材

- ① アプリケーション：Zoom ミーティング (※1)

事前にアプリケーションをダウンロードの上、接続確認を行ってください。

- ② 機材：PC (音声/映像が明瞭に聞こえかつ送れるもの)

2. 環境要件 (ZoomHP より作成)

機材・環境	内容	
パソコン (※2)	OS	Windows7 以降、macOS10.9 以降
	CPU	デュアルコア 2 Ghz 以上 (Core i3~,AMD)
	メモリー (RAM)	4GB 以上
	その他	内蔵カメラ・マイク等 (なければ Web カメラ及びマイクの接続が必要です)
	アプリ	Zoom アプリの事前ダウンロードが必要です
インターネット回線 (※3)	通信容量が無制限等で長時間安定して映像・音声等の視聴が可能なこと。	
静かな環境	質疑応答等で発言して頂く場合があります。周囲の音を拾わないようできるだけ静かな環境でご参加ください。	

※1 Zoom のホームページで事前接続確認ができます。環境要件に不安な点がある場合はご確認ください。(URL:Zoom.us/test)

※2 タブレット及びスマートフォンでの受講は推奨いたしません。
やむを得ず使用する場合は大きい画面のものを推奨します。
環境要件は Zoom ホームページをご確認ください。

※3 インターネット回線の通信費については、受講者の負担となります。

3. 注意事項

- ① Zoom のシステム面や使用デバイス、ネットワークの不具合など、実施主体及び旅行取扱業者の関与し得ない事由にてご参加いただけなかった場合は責任を負いかねます。
- ② 研修受講中の画面撮影や録画、写真やスクリーンショット等の保存、コンテンツの二次利用、配付は禁止です。
- ③本研修は記録用として主催者側で録画させていただきます。あらかじめご了承ください。

(別紙2)

2023年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講者選考基準

都道府県・政令指定都市・中核市等からの推薦者に対し、海外研修の普及効果等を考慮の上、下記の基準項目により受講者を選考することとする。

(選考の基準項目)

- ・ 実施要綱上の受講対象者の条件を満たしている者
- ・ 社会福祉振興・試験センターの行うオンライン海外研修に参加した経験のある者は、未参加の申込者に劣後する
(過去の参加者が応募すること自体は問題ない)
- ・ 同一法人内で複数名応募した場合は、法人内で1名とすることがある
- ・ 各都道府県・政令指定都市・中核市を平準化させる
- ・ 推薦理由、応募動機、経験年数、資格等を考慮する

2023年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの高齢者福祉とは一

研修のテーマ・企画ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの高齢者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、「自己決定」と「自立支援」に重きを置くという、この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、分かりやすく解説します。

- 1 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、大変好評を得ているコーディネーター兼通訳の**エーミル・オストベリ氏**がご案内。認知症に焦点を当て、サポート内容やケア方法についてお話しします。
- 2 施設見学の回では、現場で働くスタッフが実際に施設で行っているケア（**ハプティック・セラピー**や**音楽療法**など）についてお話しします。“生”の声を聞くことのできる貴重な機会です！
- 3 実際の視察さながらに施設の雰囲気を感じられるよう、訪問者目線のビデオで施設内の様子をご覧ください。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場で働くスタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

エーミル・オストベリ氏



オンライン研修の
経験も豊富！

スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館・大学・病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。



【見学施設一例】

Slottsovalen <スロットソヴァーレン>



高齢者のためのグループホーム&ナーシングホーム。コンタクト・パーソンシステムを取り入れている。ハプティック・セラピーの先生が在籍しており、職員への教育を行っている。

広い中庭があり、各ユニットから直接中庭に出て、自由に散歩することができる。

※見学施設の確定は2週間前頃となります。

1日目：エーミル氏講義

日時：2023年9月15日(金)

日本時間 16:00~18:00

スウェーデンの文化、歴史的背景をふまえ、高齢者福祉に関する専門的な内容を解説します。

- スウェーデンの高齢者福祉概要
- ケアが必要な高齢者へのサポートについて
- グループホーム、ナーシングホーム、デイアクティビティセンター、在宅ケアで実施されているケアについて
 - ・ケアプラン ・アクティビティ ・終末期ケア
 - ・補助器具の活用法 ・個別ケアのためのチームワーク
 - ・家族への支援と協力関係について
- 質疑応答

2日目：高齢者施設見学

日時：2023年9月22日(金) / 9月29日(金)

日本時間 16:00~18:30

※2グループに分けて実施する予定です。

日程については決定通知でご確認ください。

※感想共有や意見交換など受講者同士が交流できる時間を設けます。(18:00~18:30予定)

テーマ

介護施設・グループホームにおける
認知症患者への支援について

- 職員による施設の概要説明
(事前に録画したビデオをご覧ください。)
- 施設でのケア方法について
- 質疑応答



オンライン会議システム「Zoom」を使用します

2023年度民間社会福祉施設職員等 オンライン海外研修・調査(障害者班)

研修のテーマ・企画ポイント

～ ノーマライゼーションとパーソナルアシスタント制度について ～

- ◎デンマークの充実した社会福祉サービスについて、日本と比較しながら解説します。
- ◎ノーマライゼーションとパーソナルアシスタント制度について
障害者でも健常者と同じように、平等に当たり前の生活ができる社会を実現させる考え方(ノーマライゼーション)、障害者が地域で自立して生活できるサポートをする(パーソナルアシスタント制度)を実際の現場の写真、映像を使い、数多くの事例を紹介します。障害者の方を保護・隔離するのではなく、全ての障害者が、満足、納得のいく日常のあり方を見つけていく方法を皆さんで話し合ってください。

1日目:三浦 久子氏 講義

実施日時 2023年10月4日(水)
日本時間 16:00~18:00

- ☆デンマークの障害者福祉の概要、歴史的・文化的背景
- ☆デンマークのノーマライゼーションの概要、歴史
- ☆パーソナルアシスタント制度についてどのようにサポートするのか詳しく解説
- ☆実際に障害者の方にどのような補助器具を使い地域で自立して生活できるか詳しく解説

2日目:障害者施設見学

実施日時 2023年10月 6日(金)
2023年10月12日(木)
日本時間 16:00~18:30

※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。

※感想共有や意見交換など受講者同士が交流できる時間を設けます。(18:00~18:30予定)

前半の講師は三浦久子氏

☆施設内のデイケア及び就労センターの様子、個々に合わせた学習コース・パーソナルサポート、コミュニケーションの取り方等をビデオを通じてご紹介します。

後半は施設長・スタッフとライブ中継で行います。

コーディネーター・通訳

三浦 久子氏



デンマーク在住歴25年
デンマークホルステプロ市
オーディオンシアター奨学生
デンマークの高齢者福祉・幼児保育・
障害者福祉・バイオエネルギー等の
コーディネーター・アシスタント業務を長年担当。

ワークショップの指導、
学校プロジェクト、EUプロジェクト、
日本文化の紹介等にも関わってきました。
近年は、福祉についてのオンラインセミナー研修を担当。

視察先施設「ホリゾンテン」

成人で中程度から重度の身体・知的障害者の
デイケア及び就労センター。

2022年に新設の最新のデンマークの障害者施設で実際にノーマライゼーションの現場を視察します。

誰もが、成長の可能性を秘めており、それを発揮できると信じている。そのため、利用者が新しい生活のチャンスと有意義な就労で良い経験を積むことを目指し、個々に合わせた学習コースを作成。

個々の利用者の成長の可能性を鑑みて、サポートとより良い方向に導く指導をする。(雇用と活動、パーソナルケアのサポート、投薬管理、食事などの物理的サポート等)



オンライン会議システム
「Zoom」を利用します。

2023年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講希望者推薦書

標記オンライン海外研修・調査の受講希望者を、以下のとおり推薦します。

1 推薦者(県・市等推薦機関)

- ① 名称 _____
- ② 担当部署 _____
- ③ 主管課 _____
- ④ 担当者名 _____
- ⑤ 電話番号 _____ (内線) _____

2 受講希望者

班名	氏名	所属施設名
高齢者班 (高齢者施設の職員)		
障害者班 (障害児・者施設の職員)		

※複数人数の場合は、行を増やして記入してください。

※添付書類

2023年度民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査受講申込書

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
理事長 橋本 正明 様

(別紙一「高齢者班」様式)

2023年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講申込書【高齢者班】

以下の内容を全て記入してください。

2023年 月 日記入

申 込 者	フリガナ		性 別	男 ・ 女	生年月日 (年号及び西暦)	昭和 平成 (西暦)	年	月	日	年齢	歳
	氏名										
	職種	(例:介護職員、生活支援員)	保有資格		(該当に○印) 介護福祉士 ・ 社会福祉士 ・ 精神保健福祉士 ・ 介護支援専門員						
	役職	(例:管理者、課長、主任)	現法人での 勤務年数 (4/1現在)		年	社会福祉施設 通算経験年数 (4/1現在)		年			年
申 込 者	応募に関する設問 (申込者本人 がご記入 ください)	(1)応募動機や研修で学びたいことをご記入ください。									
		(2)この研修をどのようにして知りましたか (該当に○印・複数回答可) ①県・市からの通知 ②試験センターHP ③その他()									
所 属 法 人 ・ 施 設	フリガナ		フリガナ								
	法人名		施設名								
	施設種別										
	フリガナ										
	所在地	〒									
	連絡先	[電話]				[FAX]					
		[E-Mail] (受講手続きについて、やり取りができるメールアドレスをご記入ください。)									
所属長 からの 推薦理由	● 標記オンライン海外研修・調査の受講について、上記の者を推薦します。 (同一法人内で複数名ご推薦される場合は、優先順位を余白にご記入ください。)										
別紙添付 可	【推薦理由】										
					(所属長役職)					(所属長氏名)	
	2023年 月 日									印	

(注)ここに記載の個人情報、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが行う事業目的達成のために使用するものであり、法令に定める場合を除き、他の目的への利用及び第三者に提供することはありません。

(別紙「障害者班」様式)

2023年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査
受講申込書 【障害者班】

以下の内容を全て記入してください。

2023年 月 日記入

申込者	フリガナ		性	男・女	生年月日 (年号及び西暦)	昭和 平成 (西暦)	年	月	日	年齢	歳
	氏名		別	女							
	職種	(例:介護職員、生活支援員)	保有資格		(該当に○印)	介護福祉士 ・ 社会福祉士 ・ 精神保健福祉士 ・ 介護支援専門員					
	役職	(例:管理者、課長、主任)	現法人での 勤務年数 (4/1現在)		年	社会福祉施設 通算経験年数 (4/1現在)					年
	応募に関する設問 (申込者本人 がご記入 ください)	(1)応募動機や研修で学びたいことをご記入ください。									
	(2)この研修をどのようにして知りましたか (該当に○印・複数回答可) ①県・市からの通知 ②試験センターHP ③その他()										
所属法人・施設	フリガナ		フリガナ								
	法人名		施設名								
	施設種別										
	フリガナ										
	所在地	〒									
	連絡先	[電話]		[FAX]		[E-Mail] (受講手続きについて、やり取りができるメールアドレスをご記入ください。)					
	所属長からの 推薦理由 別紙添付 可	● 標記オンライン海外研修・調査の受講について、上記の者を推薦します。 (同一法人内で複数名ご推薦される場合は、優先順位を余白にご記入ください。)									
	【推薦理由】										
	(所属長役職) (所属長氏名)										
	2023年 月 日 印										

(注)ここに記載の個人情報は、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが行う事業目的達成のために使用するものであり、法令に定める場合を除き、他の目的への利用及び第三者に提供することはありません。

令和5年5月31日

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
福祉振興部

情報マガジン「カイゴのチカラ」のご案内

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当センターでは、海外研修事業の他に社会福祉の振興発展のために介護に携わる方向けの情報マガジン「カイゴのチカラ」を発行しております。

当情報マガジンは、毎号変わる特集テーマと、幅広い分野の連載記事により、福祉現場へ最新の情報をお届けしております。

これまで「介護福祉」として長年発行してまいりましたが、2022年8月発行の125号より、「カイゴのチカラ」に名称変更をし、リニューアルいたしました。特集に加えて、新たに11本の新連載も始まり、介護職の魅力を伝え、介護現場で働く方々を元気づける雑誌、介護職の専門性を高める情報マガジンを目指して、読みやすく、親しみが持てる誌面を心がけております。

より広く当情報マガジンについて知っていただきたく、ご案内申し上げます。ご興味のある場合には、見本誌をお送りいたしますので、お気軽にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、もし機会ございましたら、管内の社会福祉施設・事業所に従事する職員の皆様等へもご案内いただけますと幸いに存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
福祉振興部 「カイゴのチカラ」担当

TEL：03-3486-7511

HP

